

世界道路協会（PIARC）

組織と活動の紹介

（2024年12月）



目次

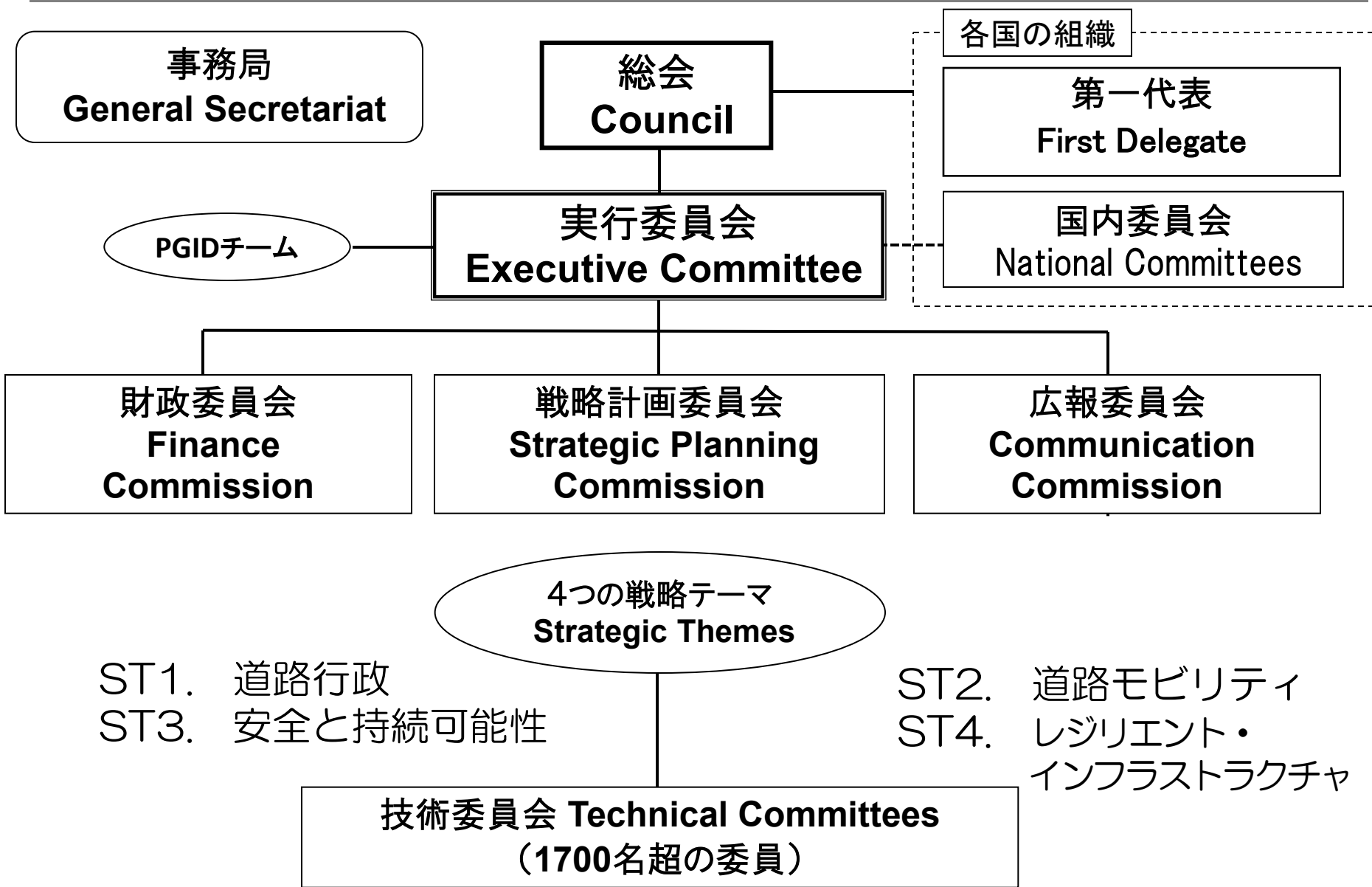
1. 概要
2. 組織
3. 戦略計画
4. ストラテジック・アウトソースド・タスク
5. スペシャルプロジェクト
6. 世界道路会議・国際冬期道路会議
7. PIARCと日本
8. PIARC日本国内委員会の活動

1. 概要

○ PIARC とは

- Permanent International Association of Road Conference
- 1909年設立、事務局：パリ
- 道路・道路交通分野における国際的協力の推進や発展強化を主たる目的とした、道路交通分野で最も歴史のある国際機関、非営利組織
- 道路交通に関する各種技術報告書等の作成と普及・啓発
- 1970年、国連の経済社会理事会の諮問機関として承認
- 128の政府会員と140カ国以上の団体/個人会員
- 日本を含む51カ国に国内委員会

2. 組織（2024年12月時点）



2. 組織

○ 実行委員会メンバー（2022-2024）

- 会長 Nazir Alli（南アフリカ）
- 前会長 Claude Van Rooten（ベルギー）
- 副会長 Geoff Allan（オーストラリア）
Mark Henry Rubarenzya（ウガンダ）
Emma Lia Albrieu Cipollina（アルゼンチン）
- 実行委員会 会長・前会長・副会長・国内委員会代表を含む27名のメンバーで構成、任期3年間



運営関係会議

○ 年次総会は年に1回開催、実行委員会は年に2回開催

開催年月	会議	開催国（都市）	備考（主なトピック）
2021年 10月	総会 実行委員会	オンライン	<ul style="list-style-type: none"> ・会長、副会長及び実行委員選挙 ・2026年冬期大会開催地選挙 他
2022年 3月	総会	オンライン	<ul style="list-style-type: none"> ・ウクライナ関連
2022年 4月	実行委員会	オンライン	<ul style="list-style-type: none"> ・戦略計画委員会等、委員会メンバーの決定
2022年 10月	実行委員会	オンライン	<ul style="list-style-type: none"> ・次期戦略計画案に関する検討・議論 ・決算、予算の承認 他
2022年 11月	総会 実行委員会	セネガル・ダカール	<ul style="list-style-type: none"> ・次期戦略計画案に関する検討・承認、 ・決算、予算の承認 他
2023年 4月	実行委員会	インド・デハラドゥーン	<ul style="list-style-type: none"> ・STコーディネーター、TCチェア等の決定 他
2023年 9月	実行委員会	オンライン	<ul style="list-style-type: none"> ・次期戦略計画の検討・議論
2023年 9月	総会	チェコ・プラハ（世界大会と合わせて開催）	<ul style="list-style-type: none"> ・次期戦略計画の承認 ・2027年世界大会開催地選挙 他
2024年4月	実行委員会	ローマ	<ul style="list-style-type: none"> ・次期戦略計画のワークプラン承認
2024年9月	実行委員会	南ア・ケープタウン	<ul style="list-style-type: none"> ・2025年予算と会費の審議
2024年11月	総会	アンドラ	<ul style="list-style-type: none"> ・2025年予算と会費の承認 ・会長、副会長及び実行委員選挙

○ 実行委員会メンバー（2025-2028）

- 会長 Emanuela Stocchi
（イタリア、AISCAT）



- 前会長 Nazir Alli（南アフリカ）
- 副会長 Alexander Walcher（オーストリア）
Dhamananda Sarangi（インド）
Mamoudou Alassane Camara（セネガル）
- 実行委員会 会長・前会長・副会長・国内委員会代表を含む28名のメンバーで構成、任期4年間

3. 戦略計画 (Strategic Plan) (1)

【戦略計画とは】

- 4年を1タームとするPIARCの活動計画
- 1996年に導入され、2024年より8ターム目 (2024-2027)
- Section 1 : PIARCのビジョン、ミッション、道路分野に関する現在および将来の重要課題)、
- Section 2 : 技術活動の組織体制 (技術委員会、TOR等)

【戦略計画の策定】

- 戦略計画委員会が、加盟国第一代表、国内委員会、技術委員会等の議長、戦略テーマコーディネーターらの意見を取り入れて策定

3. 戦略計画 (Strategic Plan) (2)

【1ターム（4年間）の活動タイムライン】

- 技術委員会は戦略計画に基づき活動を実施
 - 初年度：技術委員会設置、キックオフミーティング
 - 中間年：戦略計画中間会議（ミッドタームミーティング）
 - 最終年：技術報告書とりまとめ、世界大会で発表・討論
- 各技術委員会は年2回委員会を開催

【戦略テーマ (Strategic Theme)】

- 技術活動のストラクチャの土台となるテーマ
- 2024-2027年は以下4つのテーマを設定

ST1. 道路行政

ST2. 道路モビリティ

ST3. 安全と持続可能性

ST4. レジリエント・インフラストラクチャ

3. 戦略計画 (Strategic Plan) (3)

○ 技術委員会 (Technical Committee) による調査研究

- PIARC活動の中核を担うものであり、各国の専門家がボランティアにて参加 (21委員会、1700名超の参加)
- 最終年度に成果として技術報告書を提出 (英, 仏, 西の3カ国語) また、世界道路会議にて技術セッションを主催し発表

	技術委員会 (TC)
任期	4年間
会議	年2回の会議
ワークショップ ^o	各TCの判断により開催
セミナー	途上国にて4年間に2回開催

3. 戦略計画（4）

○ 技術委員会（2024-2027）

（下線は本ストラテジックプランで新設された技術委員会）

ST1：道路行政	ST2：道路モビリティ	ST3：安全と持続可能性	ST4：デジタル・インフラ	分野横断
1.1 交通行政のパフォーマンス 1.2 経済・社会発展への道路の貢献 1.3 資金と調達 1.4 道路ネットワークのデジタルの計画—気候変動と他の災害 1.5 災害マネジメント	2.1 都市部と郊外部のアクセシビリティとビリティのための道路 2.2 地方部と都市間部における公平性、アクセシビリティとビリティのための道路 2.3 持続可能な貨物輸送 2.4 持続可能性のための道路ネットワーク管理とITS 2.5 <u>コネクテッドと自動運転のビリティのための道路インフラ</u>	3.1 道路の安全 3.2 冬期サービス 3.3 アセットマネジメント 3.4 道路インフラと交通における環境持続性 <u>3.5 道路交通の脱炭素化</u>	4.1 舗装 4.2 橋梁 4.3 土工 4.4 トンネル <u>4.5 道路の建設・管理における脱炭素化</u> <u>4.6 道路設計基準</u>	<ul style="list-style-type: none">・ターミナル・道路統計

3. 戦略計画（最近の技術委員会レポート等）

○ 技術委員会レポート・季刊誌等の発行・頒布

- 技術委員会レポート

技術委員会が4年間の研究内容を取りまとめたもの

- 季刊誌「Routes/Roads」

PIARCが会員向けに年4回発行している機関誌

- オンラインマニュアル

- 災害マネジメント
- 道路アセットマネジメント
- 道路安全
- RNOとITS
- 道路トンネル
- 土工



3. 戦略計画（最近の技術委員会レポート等）

【地球温暖化防止】

- Greening of Freight Transport
(2020-2023 term TC2.3 Freight)

貨物輸送の環境負荷低下のための施策や事例。
低走行、大積載、輸送需要マネージメント等。

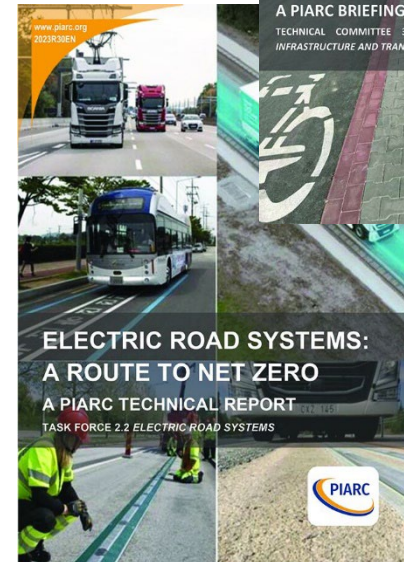
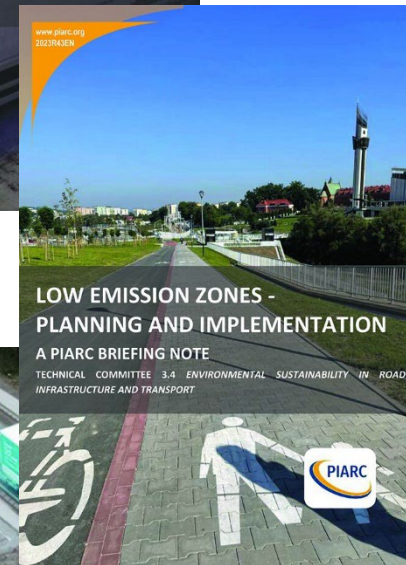
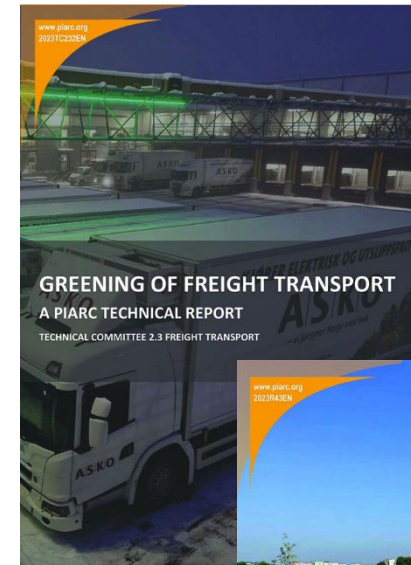
- Low Emission Zones – Planning and Implementation

(2020-2023 term TC3.4 Environmental Sustainability in Road Infrastructure and Transport)

低排出ゾーン（LEZs）の計画と実施。都市部での排出削減効果を高める戦略や事例。

- Electric Road Systems – A Route to Net Zero
(2020-2023 term TF 2.2 - Electric Road Systems)

電気道路システム（ERS）の導入による炭素排出削減の可能性、技術的課題等。



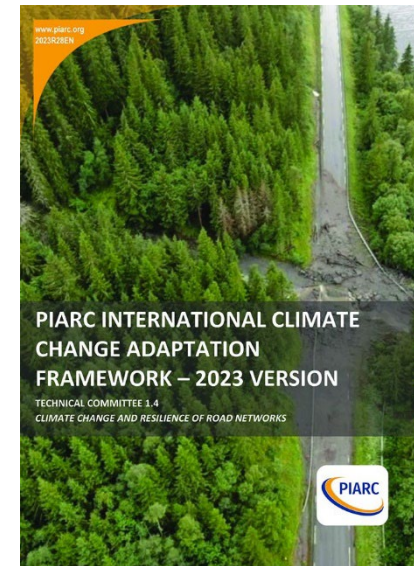
3. 戦略計画（最近の技術委員会レポート等）

【地球温暖化対応】

■ PIARC International Climate Change Adaptation Framework 2023

(2020-2023 term TC1.4 Climate Change and Resilience of Road Networks)

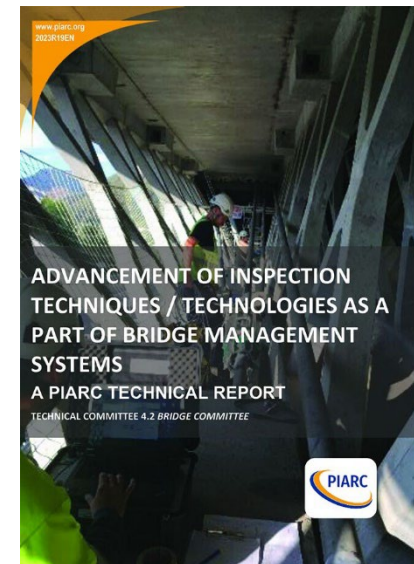
2019年の気候変動適応フレームワークを2023年版に改定。柔軟な対応が可能な構造、データ取得状況に応じて適用できる手法。



■ Measures for Increasing the Adaptability of Road Bridges to Climate Change

(2020-2023 term TC4.2 Bridges)

気候変動に対する橋梁のレジリエンスを高める方策について15カ国19事例を収集。多くの国では気候変動に対する設計基準や管理方法の適応が進んでいない。

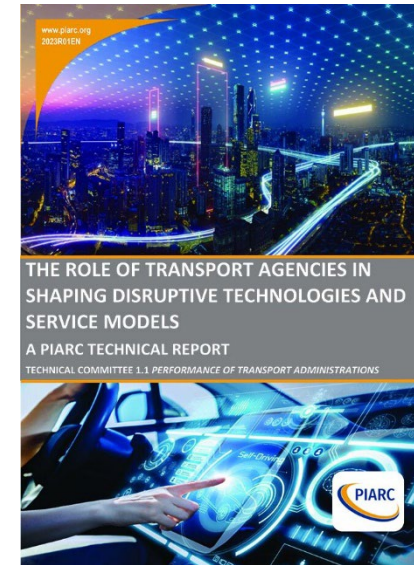


3. 戦略計画（最近の技術委員会レポート等）

【新技術の導入】

- The Role of Transport Agencies in Shaping Disruptive Technologies and Service Models
(2020-2023 term TC1.1 Performance of Transport Administrations)

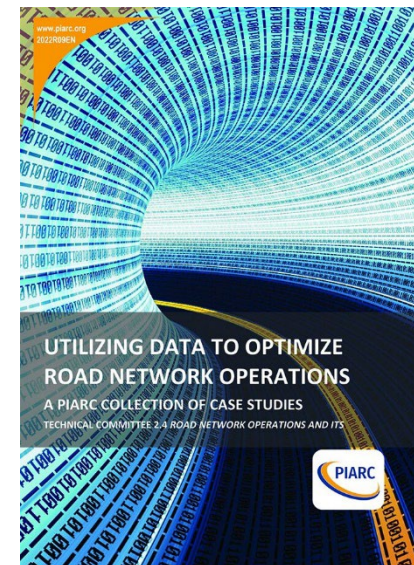
道路交通に影響を与える破壊的／革新的な技術とサービスモデルについて、特徴、影響、展望を分析し、道路管理者が対応するために必要な政策・規制・組織等について提言。



【ITS】

- Utilizing Data to Optimize Road Network Operations
(2020-2023 term TC2.4 Road Network Operation / Intelligent Transportation Systems)

データを活用した道路交通改善の取組21事例を収集。交通データのプラットフォーム、CCTVカメラによる交通状況管理、AIを用いた渋滞解析等。



3. 戦略計画（最近の技術委員会レポート等）

【生物多様性】

■ Mainstreaming Biodiversity within Road Infrastructure Projects

(2020-2023 term TC3.4 Environmental Sustainability in Road Infrastructure and Transport)

道路インフラが生物多様性に与える影響を評価し、その保全と持続可能な開発を目指すための実践的なガイド。

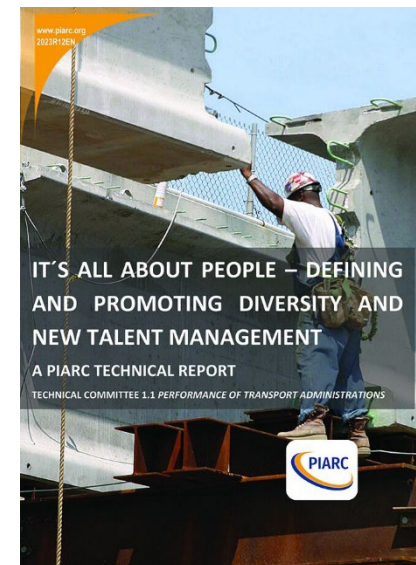


【多様性と職能管理】

■ It's All About People – Defining and Promoting Diversity and New Talent Management

(2020-2023 term TC1.1 Performance of Transport Administrations)

ケーススタディを通じて、交通部門における組織内の多様性の推進と人材管理における課題とアプローチを検討。

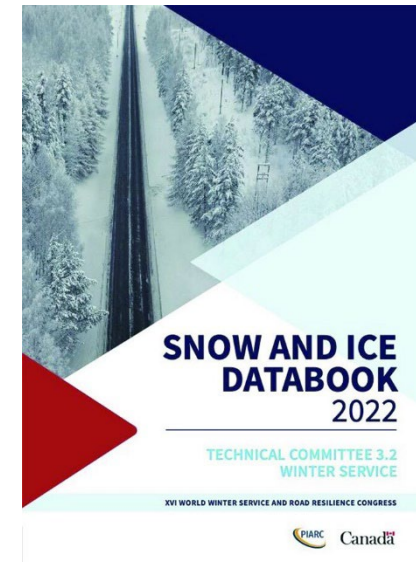


3. 戦略計画（最近の技術委員会レポート等）

【雪氷データブック】

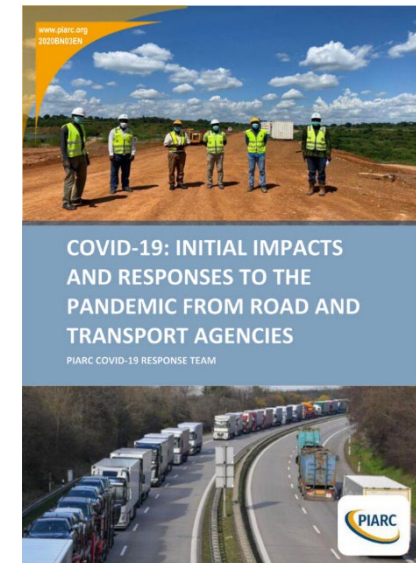
- Snow and Ice Databook 2022
(2020-2023 term TC3.2 Winter Service)

世界各国の冬期道路管理の情報を掲載した資料集。4年毎に改訂され2022年版は20カ国1地域を収録。



【COVID-19 Response Team】

- COVID-19: initial impacts and responses to the pandemic from road and transport agencies
日本等10か国からのエキスパートによるチームを形成、議長はPIARC事務局長。
約30回に及びCovid-19と道路交通に関するワークショップを開催して各国の状況をフォローし、スペシャルレポートを発表。



4. ストラテジック・アウトソースド・タスク（1）

概要

- 戦略計画2024-2027において新規に導入されたスキーム
- 戦略計画中の特に重要なテーマについて、文献調査やアンケート調査等の基礎的な作業をコンサルタントに委託。
- 当該テーマを担当する技術委員会の負担軽減と報告書の質の向上を図る。
- 資金は会員各国から募集。
- 選定したテーマ
 - (1) 極端な気候への対応
 - (2) 脱炭素化

4. ストラテジック・アウトソースド・タスク（2）

- スペイン、スイス、アメリカ、オーストラリアから計19,000ユーロの資金提供
- コンサルタント1社（英国）が選定され、下記課題を実施中

該当技術委員会	分野	課題内容
TC1.4&1.5	極端な気候への対応	文献レビュー：組織と道路ネットワークのレジリエンスを強化するための、異常気象、災害管理、気候変動の影響への対処に関連するベストプラクティス
TC1.5	極端な気候への対応	文献レビュー：サプライチェーンの継続性をサポートする道路ネットワークの短期的なレジリエンス確保のための準備、被害軽減策、対応、復旧対策
TC3.5&2.1	脱炭素化	文献レビュー：道路旅客および貨物輸送の脱炭素化のための道路利用者に焦点を当てたソリューションに関する国家戦略と政策

4. スペシャルプロジェクト（1）

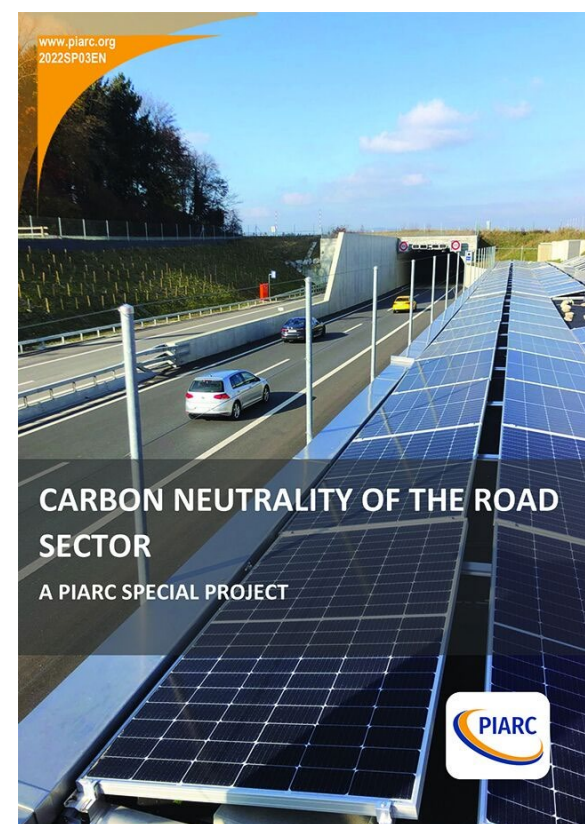
○スペシャルプロジェクト

- ・ 戦略計画には定められていない重要なテーマに柔軟に対応し、外部コンサル等への委託により調査研究を行うスキーム
- ・ テーマおよびプロジェクト資金は会員各国等への募集を実施
- ・ プロジェクト報告書はPIARCウェブサイトから無料DLが可能

実施年	近年のプロジェクト
2022	Equity and Accessibility Carbon Neutrality of the Road Sector ※日本も出資
2023	Bicycle Paths & Expressways Managing Innovation in Transport Agencies Raising Awareness on Gender Inclusion and Diversity
2024	Artificial Intelligence (AI) in the Road Sector ※日本も出資 Rapid Impact Assessment Update of the PIARC Road Safety Manual
2025	Motorcycle Protection System Management of Worksites

4. スペシャルプロジェクト（2）

- カーボンニュートラル
／デカーボナイズーション（脱炭素）
- 2022年スペシャルプロジェクトとして実施した「道路分野におけるカーボンニュートラル」には日本も出資し、プロジェクト監督チームに参加。
- 道路分野における二酸化炭素排出の削減への要請に対して、政策面・技術面での現状と今後の対応について事例を収集。
- 今期（2024-2027）戦略計画では、「脱炭素」に関連する複数の技術委員会を設置。



4. スペシャルプロジェクト（3）

○ 道路分野のAI

- 道路分野でAIが導入されている状況及び今後の見通しについて、この先2～3年を中心にしつつ、2030年までを見据え、道路の調査から建設、維持管理まで広範に調査する。
- 主なテーマ
 - AIの導入状況と、道路セクターや利用者へのメリット
 - セキュリティ、管理の課題
 - 倫理、公益確保、政策実現のためAI開発に対する規制やガイドラインのあり方

5. 世界道路会議・国際冬期道路会議（1）

- 道路と道路交通における技術と経験を世界で共有するため、4年毎に開催
- 大臣セッション、特別セッション、戦略方向性セッション、技術委員会セッション、技術展示会等を開催

開催年	会議	開催国	開催都市
2015年	第25回世界道路会議	韓国	ソウル
2018年	第15回冬期道路会議	ポーランド	グダンスク
2019年	第26回世界道路会議	アラブ首長国連邦	アブダビ
2022年	第16回冬期道路会議	カナダ	カルガリー（バーチャル開催）
2023年	第27回世界道路会議	チェコ共和国	プラハ

（今後）

2026年	第17回冬期道路会議	フランス	シャンベリー
2027年	第28回世界道路会議	カナダ	バンクーバー

5. 世界道路会議・国際冬期道路会議（2）

○ 第16回冬期サービスとレジリエンスに関する世界大会 （カルガリー冬期大会）



1. 開催期間 : 2022年2月7日(月)-11日(金)
2. 開催方式 : 完全バーチャル開催
3. 大会テーマ : Adapting to a Changing World
4. 主なイベント : 大臣セッション、技術セッション、バーチャル技術展示会
5. 参加者 : 約800名
6. 技術論文 : 41カ国から227編が採択
 - ★PIARC賞4部門中、3部門で日本から4論文が受賞!
 - ★日本道路協会は「低中所得国の著者」部門のスポンサー
7. 技術展示会 : 国土交通省と高速道路4社が共同出展

5. 世界道路会議・国際冬期道路会議（3）

○ 第27回世界道路会議（プラハ大会）



1. 開催期間 : 2023年10月2日(月)-6日(金)
2. 開催地 : チェコ共和国 プラハ市
3. テーマ : Together on the Road again
4. 主なイベント : 大臣セッション、技術セッション、技術展示会
5. 参加者 : 約6,000名
6. 技術論文: 71カ国から525編が採択
 - ★日本の論文数は53編(チェコ63編に次ぎ、2位)
7. PIARC賞 : 優秀論文賞として8つの部門を設置
 - ★PIARC賞8部門中、3部門で日本の論文が受賞!
 - ★日本道路協会は「低中所得国の著者」部門のスポンサー

5. 世界道路会議・国際冬期道路会議（4）

○ 第17回冬期サービスと道路のレジリエンスに関する世界大会 (シャンベリー冬期大会)

1. 開催期間 : 2026年3月10日(火)-13日(金)



2. 開催地 : フランス シャンベリー

3. 大会テーマ : Ensuring road excellence in all seasons

4. 論文アブストラクト提出締切 : 2026年1月31日

○ 第28回世界道路会議 (バンクーバー大会)


1. 開催期間 : 2027年10月4日(火)-8日(金)

2. 大会テーマ : “Green Means Go: Paving a Cleaner Future”

3. 開催地 : カナダ バンクーバー



7. PIARCと日本（1）

日本の加盟	1910年（PIARC設立の翌年）
日本第一代表	国土交通省道路局長 山本 巧 氏
日本国内委員会 委員長	日本道路協会長 徳山 日出男 氏 
技術委員会 (2024-2027)	18の委員会に約60名の土木技術者・学識経験者が参画 戦略テーマ3 コーディネーター：田村敬一 氏
運営的委員 (2024-2027)	実行委員：平井 節生 氏 SPC委員（副委員長）：平井 節生 氏 COMCOM委員：吉木 務 氏
PIARC事務局	2名のテクニカルアドバイザーを派遣 （広地 豪氏・藤田和志氏）

7. PIARCと日本（2）

○ 技術委員会 日本委員（2024-2027）

戦略テーマ	技術委員会	日本委員（敬称略）
1：道路行政	1.2 経済・社会発展への道路の貢献	土肥 学（国総研 道路研究室）
	1.5 災害マネジメント	委員長；足立 幸郎（阪神高速先進技術研究所） 宮武 裕昭（土木研究所 地質・地盤研究グループ）
2：道路モビリティ	2.1 都市部と郊外部のアクセシビリティとモビリティのための道路	遠藤 玲（日本大学理工学研究所） 高柳 百合子（富山大学）
	2.3 持続可能な貨物輸送	味水 佑毅（流通経済大学） 今西 芳一（公共計画研究所）
	2.4 持続可能性のための道路ネットワーク管理とITS	松原 朋弘（国総研 ITS研究室） 上田 敏（ITSサービス高度化機構）
	2.5 「ネクスト」と自動運転のモビリティのための道路インフラ	平岩 洋三（東京大学生産技術研究所） 中川 敏正（国総研 ITS研究室）
3：安全と持続可能性	3.1 道路の安全	濱岡 秀勝（秋田大学）
	3.2 冬期サービス	松下 拓樹（寒地土研 寒地道路研究グループ）
	3.3 アセットマネジメント	高野 辰雄（NEXCO東日本）
	3.4 道路インフラと交通における環境持続性	曾根 真理（フジタ）
	3.5 道路交通の脱炭素化	池田 裕二（国土技術研究センター）

7. PIARCと日本（3）

○ 技術委員会 日本委員（2024-2027）

戦略テーマ	技術委員会	日本委員（敬称略）
4：レジリエント・インフラストラクチャ	4.1 舗装	高橋 茂樹（金沢工業大学）
	4.2 橋梁	遠藤 和男（本四高速） 坂本 佳也（本四高速）
	4.4 トンネル	砂金 伸治（東京都立大学） 日下 敦（土木研究所 道路技術研究グループ）
	4.5 道路の建設・管理における脱炭素化	吉木 務（パスコ）
	4.6 道路設計基準	河本 直志（国総研 道路研究室）
分野横断	ターミノロジー	仲谷 俊昭（国土交通省 道路局）
	道路統計	英語セクレタリ；大西 博文（片平新日本技研） 土肥 学（国総研 道路研究室） 岡 利幸（NEXCO中日本）

7. PIARCと日本（4）

○ 技術委員会・国際ワークショップの日本開催

2020-2023年タームにおける、日本開催の技術委員会・ワークショップ°

開催年月	開催場所	委員会	ワークショップ
2020年 11月	東京	TC4.4 トンネル	<ul style="list-style-type: none">第34回日本道路会議に合わせて開催ハイブリッド開催(発表者のみ対面)
2022年 6月	京都	TC1.5 災害マネジメント	<ul style="list-style-type: none">阪神高速道路の特別協賛、REAAAの後援、ハイブリッド開催コロナ禍で初の海外発表者の参加
2023年 5月	神戸	TC4.2 橋梁	<ul style="list-style-type: none">本州四国連絡高速道路の主催、ハイブリッド開催多数の海外発表者の参加

8. PIARC日本国内委員会の活動（1）

○ PIARC活動報告会の開催

【目的】

- PIARC活動成果の国内での共有と還元
- 国内におけるP I A R C活動の活性化

【開催概要】

- 各技術委員会で日本のミッションを設定し、我が国の道路行政に有益な活動内容を中心に報告会を開催
- 「P I A R C活動報告会」としてP I A R C活動全般について広く情報発信（2020年・2021年はコロナ禍により実施せず）
- 2022年はオンライン配信、2023年はコロナ禍以後初の対面開催（オンライン、オンデマンドを併用）



8. PIARC日本国内委員会の活動（2）

○ P I A R C技術委員会等による調査報告の「道路」掲載

- ・ 月刊誌「道路」技術委員会による調査報告をリレー掲載

【目的】

- ・ PIARC活動成果の国内での共有、会員サービス
- ・ PIARC活動成果（データ等）のアーカイブ
- ・ 国内におけるP I A R C活動の活性化



ご清聴ありがとうございました。
